

令和4年度 児童虐待防止推進月間 の取組について



児童虐待問題に対する社会的関心を喚起するため、児童虐待防止法が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、平成16年度から集中的な広報・啓発活動を実施している。

1. 「子どもの虐待防止推進全国フォーラム with かがわ」の開催 (開催日：令和4年11月20日(日))

児童虐待防止及び体罰等によらない子育て等をテーマとした基調講演、トークセッション、「児童虐待防止推進月間」標語最優秀作品の表彰を実施。香川県での現地(ホテルクレメント高松)開催のほか、厚生労働省YouTubeアカウントのライブ配信によるハイブリット形式。

2. 「児童虐待防止推進月間」標語の募集、決定・公表

6月14日～7月22日を応募受付期間として全国から公募を行い、応募数3,675作品から最優秀作品を選考。最優秀作品には、厚生労働大臣賞を授与し、厚生労働省の各種広報媒体に掲載。

【令和4年度最優秀作品】

「もしかして？」 ためらわないで！ 189(いちはやく) 東條心海さん(静岡県)の作品

3. ポスター・リーフレット・啓発動画の制作・公開

- 「児童虐待防止推進月間」に向けたポスター・リーフレットの制作・公開。10月中旬に特設サイトで公開し、地方自治体、NPO等民間団体、民間企業における活用を啓発。なお、全国地方自治体には、10月下旬に印刷物を配布。
- 「189」「0120-189-783」「親子のための相談LINE(仮称)」普及啓発動画の制作・メディア(SNS等を含む)展開

4. オレンジライトアップ

子どもの虐待防止推進全国フォーラムの開催地の香川県のランドマークを、児童虐待防止推進月間中の期間限定でオレンジ色にライトアップ。対象施設…丸亀町商店街、丸亀城天守閣、サンポートシンボルタワー、まんのう公園、観音寺市琴弾公園(銭形砂絵)

5. B.LEAGUEワンダー協賛 “オレンジリボンマッチ”

11月26日開催の3カード(仙台89ERS、広島ドラゴンフライズ、香川ファイブアローズ)で、オレンジ色を基調としたグッズ展開、会場サインージでの動画再生など、会場をオレンジ色にジャック。SNSやPR拡散により話題の広がりを図る。

6. 「子育て相談室(てい先生 × 高祖常子先生)」の動画配信

つい手を挙げてしまう・怒鳴ってしまうなど、子育て中の親の多くが抱えがちな悩みについて、有識者が日常の「あるある」を紹介しつつ、悩みに寄り添ったアドバイスなどの動画を制作し、厚生労働省YouTubeアカウントで配信。(10月以降1か月に1回程度の配信)

7. 「子育て対談(わたなべ麻衣さん × 高祖常子先生)」のWEB記事配信

子育ての「イライラ」や「疲れた」時にどうしたら良いか、モデル、タレント、女優として活躍するわたなべ麻衣さんをゲストに迎えた対談記事の特設サイトで公開。

「子どもの虐待防止推進全国フォーラム with かがわ」の開催



子育て世代
(当事者の親
/ 予備軍含む)

児童虐待防止及び体罰等によらない子育て等をテーマとした基調講演、トークセッション、「児童虐待防止推進月間」標語最優秀作品の表彰を実施。香川県での現地（ホテルクレメント高松）開催のほか、厚生労働省YouTubeアカウントのライブ配信によるハイブリット形式。

当日ご来場申し込み・
オンライン視聴はこちらから▶

https://www.mhlw.go.jp/gyakutaiboushisuishin-forum_2022/



登壇者ご紹介



秋田 喜代美 氏
学習院大学 文学部教授



高祖 常子 氏
認定NPO法人児童虐待防止
全国ネットワーク理事



てい先生
保育士/YouTuber



わたなべ 麻衣 氏
モデル/タレント/女優



中橋 恵美 氏
認定NPO法人わははネット



徳倉 康 氏
NPO法人ファザーリングジャパン理事/
(株)ファミリーエ代表取締役

トークセッションテーマ

- ・香川から発信する子育てにやさしい社会づくり
- ・子育てのグレーゾーンとは一感情に任せた接し方をしないためにできること
- ・虐待が起きない社会に向けて、社会が今できること

子どもの虐待防止推進 全国フォーラムwithかがわ

オフライン&全国オンライン開催

※高松市の会場へのご来場も150名限定で可能です。
※YouTube Liveを利用したオンライン開催となります

参加無料 令和4年 **11月20日** 14:00-17:00

「ポスター・リーフレット・啓発動画の制作・公開」について



子育て世代
(当事者の親
／予備軍含む)

- ・「児童虐待防止推進月間」に向けたポスター・リーフレットの制作・公開。10月中旬に特設サイトで公開し、地方自治体、NPO等民間団体、民間企業における活用を啓発。なお、全国地方自治体には、10月下旬に印刷物を配布。
- ・「189」「0120-189-783」「親子のための相談LINE（仮称）」普及啓発動画の制作・メディア（SNS等を含む）展開

SNSで人気のマンガ家

(主に育児をテーマに展開する作家) を起用

POINT①

マンガ表現で多くの情報を効率的に伝達

POINT②

ターゲットに影響力を持つ作者を起用

POINT③

問題に関心を持つ作者の起用

- ・子育て世代だけでなく、幅広い年代に親しまれる表現で注目度を上げる。
- ・3コマ（4コマ）マンガのフレームで、多くの情報を受け取りやすく発信。

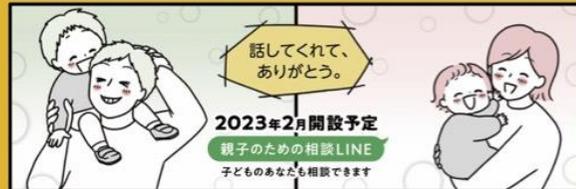
【モチコ】

<https://www.mochicodiary.com/profile>

Twitter : 1.1万フォロワー
Instagram : 19万フォロワー



それは、親子の未来を守る相談



ママもパパも、一人で抱え込まないで。

子育ての悩み、家族のこと、ご相談ください。

それは、親子の未来を守る連絡



たとえ勘違いだったとしても。
「あの親子、大丈夫かな」と思ったら、迷わずご連絡ください。

児童相談所 虐待対応ダイヤル

- 通話料無料 ●匿名でも大丈夫です
- お住いの地域の児童相談所につながります
- 秘密情報は厳守します ※一部のIP電話からは繋がりません



詳しくは、特設サイトへ
<https://www.mhlw.go.jp/189-ichi-hayaku/>

オレンジリボン運動について

1 「オレンジリボン」マークの由来について

平成16年、栃木県小山市で3歳と4歳になる二人の兄弟が父親の友人から再三にわたって暴行を受け、息も絶え絶えの状態、橋の上から川に投げ込まれて幼い命を奪われるという痛ましい事件が起こったことをきっかけに、全国でオレンジリボン運動が始まった。

児童虐待防止全国ネットワークは、全国に広がったオレンジリボン運動を大切に大きく育てるため、平成18年よりオレンジリボン運動の総合窓口を担っている。また、「子どもへの虐待をなくしたい」という志のもとに、全国で共通したシンボルとするために、目指すべき目標（オレンジリボン憲章）を定めた。

2 (特非) 児童虐待防止全国ネットワークについて

理事長 : 吉田恒雄氏 (駿河台大学学長)

設立年月日 : 平成13年6月2日

(平成19年8月27日、特定非営利活動法人としての登記)

事務局所在地 : 東京都世田谷区松原1-45-10 K Tスクエア 4 B

事業 : 児童虐待防止シンポジウム開催事業、児童虐待防止啓発活動事業等

3 オレンジリボン・バッジについて

オレンジリボン・バッジは、オレンジリボン運動の主旨に賛同して、(特非) 児童虐待防止全国ネットワークへ寄付された方に対して、当該団体が交付している啓発グッズの一つ。



(サイズ: 縦20ミリ、横18ミリ)

